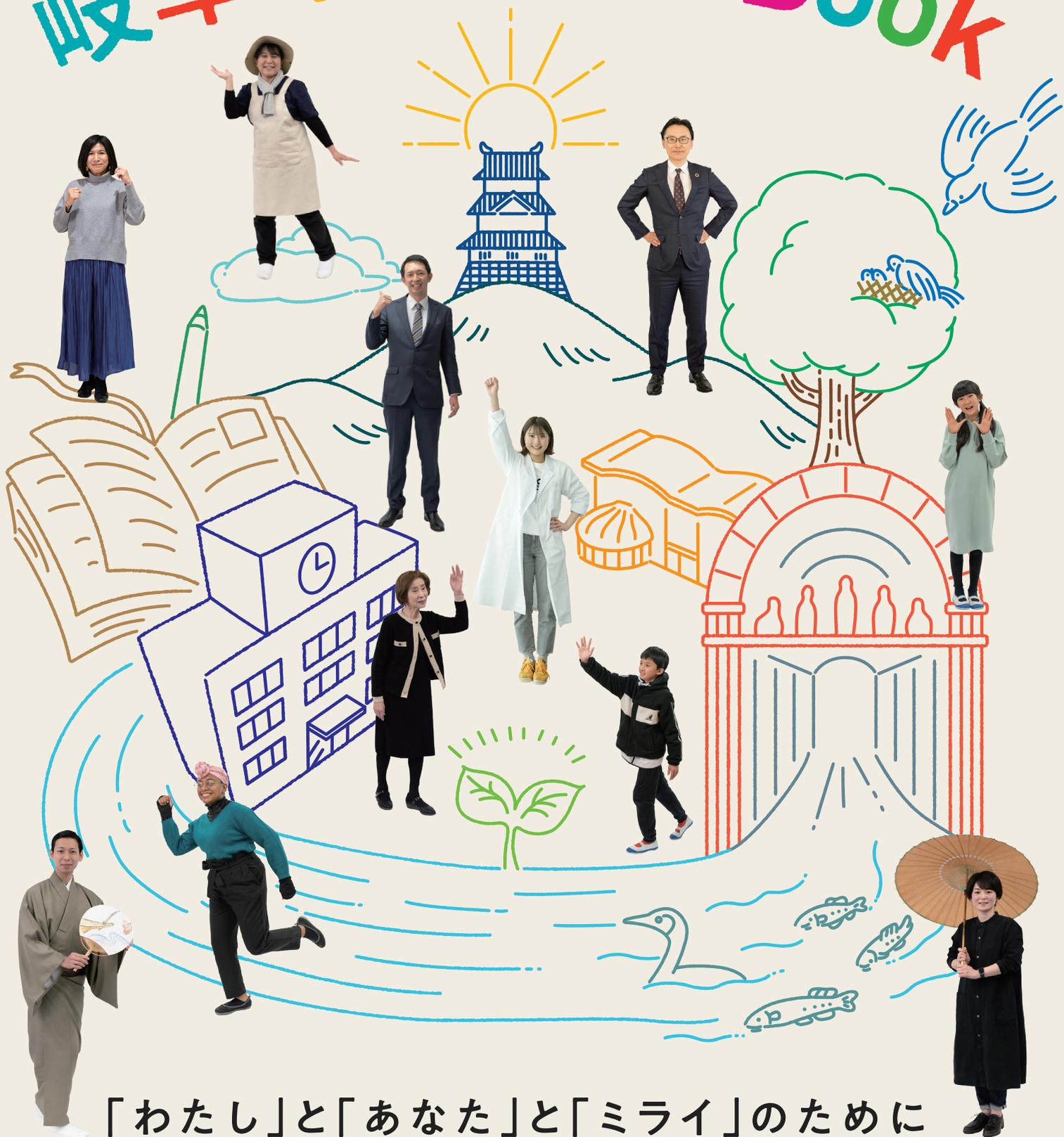


岐阜市 SDGs Book



「わたし」と「あなた」と「ミライ」のために

SDGsとは?



持続可能な Development Goals

PEOPLE 人間



PROSPERITY 繁栄



PLANET 地球



PEACE 平和



PARTNERSHIP パートナースHIP



わたしたち「人間」や「繁栄」、「地球」そして、「平和」のための目標であり国際社会の「パートナーシップ」により目標の実現を目指します。全部で17の目標があり、これらは人間や地球などの英語の頭文字である5つのPのグループに分類できます。

どんな目標なの?

いつ誰が決めたの?

2015年9月の国連サミットで日本を含む193の加盟国の全会一致により「持続可能な開発のための2030アジェンダ」という文書が採択されました。SDGsは、そこに記された2030年までに達成を目指す国際目標です。

なぜできたの?

世界には貧困や紛争、感染症、気候変動、資源の枯渇など数多くの課題があり、このままでは人類が安心して暮らすことができなくなるおそれがあります。そうした危機感をもとに考案されたのがSDGsです。

何を指すの?

2030年までに持続的で強くなやかな世界に移行させること、そして世界中の「誰一人取り残されない」社会の実現を目指しています。そのために、わたしたちは、これまでの価値観や行動を大きく変える、すなわち「変革」する必要があります。

一言で表すと?

自分だけでなく、世界中の人々の、さらには将来世代のニーズも満たす開発のための目標、つまり、わたしたちも、これから生まれてくる子どもたちも、誰もが豊かに住み続けられる社会をつくるための目標です。

SDGsは他人事ではない!

例えば目標1の「貧困をなくそう」や目標2の「飢餓をゼロに」は遠い世界の問題で自分には関係がないと思われる方もいるかもしれませんが、日本にも貧困の問題はあります。国民の相対的貧困率は2016年時点で15.7%とG7(主要先進7か国)の中で2番目に高く、わたしたちにとっても決して他人事ではありません。



SDGsの17の目標はつながっている!

17の目標は、実は密接につながっています。バラバラに考えるのではなく、統合的に取り組み、様々な課題の同時解決を目指すことが大切です。例えば左の図のように、教育や産業、パートナーシップの取組により食品ロスを減少させ、さらにそれを飢餓の減少や二酸化炭素排出量・余分な漁獲量の削減といった目標につなげることができます。

経済、社会、環境のバランスが大事!

右の図は、SDGsのウェディングケーキモデルと呼ばれるもので、17の目標を「経済」「社会」「環境」の「三側面」に分類しています。これは何を意味しているのでしょうか?まず、下から順に、環境、社会、経済が積み重なっています。これは、わたしたちの世界の基盤には環境があり、その上に社会が成り立ち、それらを前提とした上で経済が動き、人々の豊かな暮らしにつながることを表しています。SDGsの取組においては、この三側面の全てに目配りしバランス良く取り組むことが求められます。また、ケーキの中心軸には目標17のパートナーシップが置かれています。これは、様々な人々の協力が全ての目標と取組の根幹であることを示しています。



「自分ごと化」と「ローカライズ」をしよう!

では、グローバル目標であるSDGsの達成に向けて、わたしたちは具体的に何ができるのでしょうか?それを考えるポイントは、わたしたち一人ひとりがSDGsを「自分ごと化」することです。そのためには、世界の大きな課題を自分たちの国や地域のサイズに置き換えて考える、つまり「ローカライズ」することが必要です。

NEXT >> わたしたちの社会を取り巻く課題の解決とSDGsの推進、「持続可能なまち」に向けた岐阜市の取組について

わたしたちの社会を取り巻く 課題の解決とSDGsの推進

わたしたちの社会を取り巻く様々な課題の解決に取り組むことが、SDGsの達成に貢献します。
そして、そのことが人口減少の克服と社会の活力の向上、
ひいては、人々が安心して暮らせる「持続可能なまちづくり」につながります。



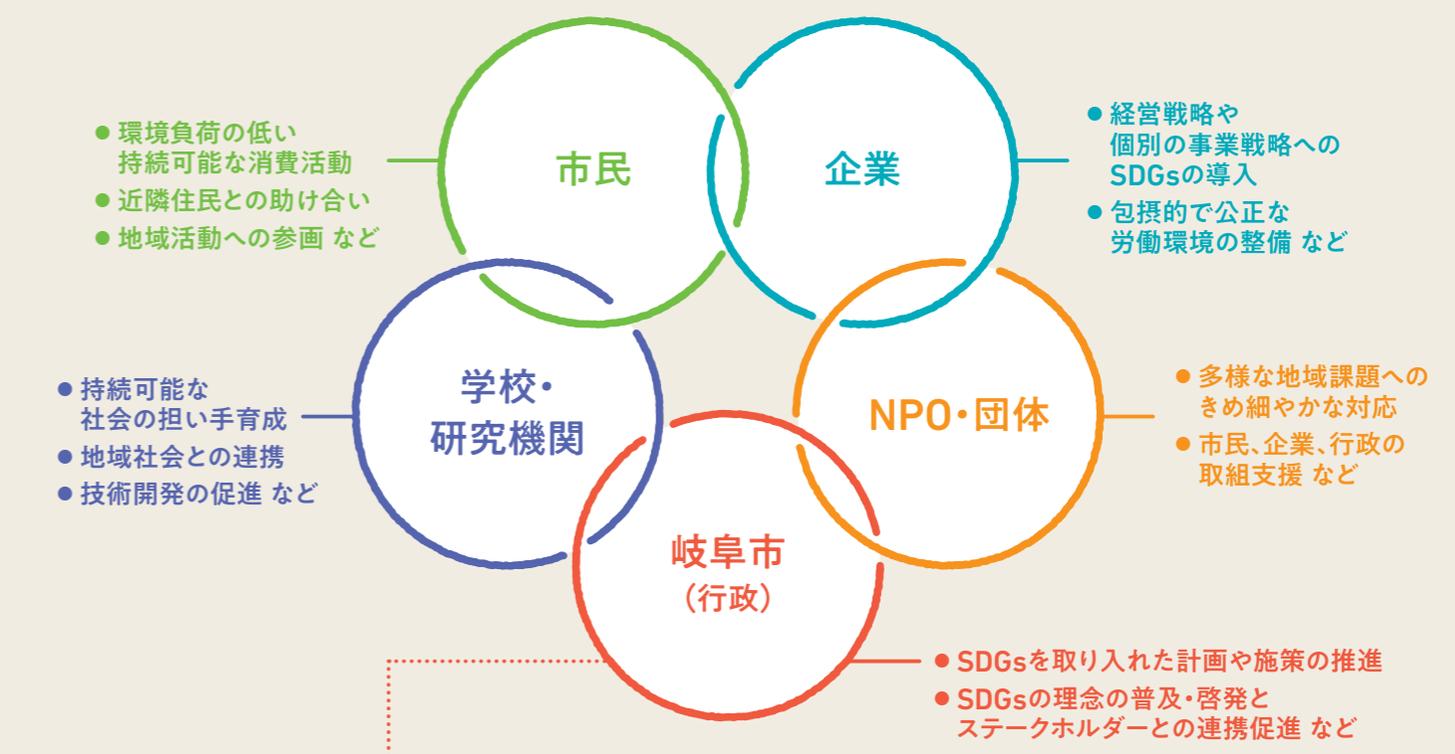
人口減少の克服と社会の活力の向上

人々が安心して暮らせる「持続可能なまち」へ！

SDGsを共通言語に

「持続可能なまち・岐阜市」の実現へ

岐阜市では地域の課題解決に向け、SDGsを共通言語に
多様なステークホルダーと取組を進め、「持続可能なまち」の実現を目指します。
皆さんと一緒にSDGsを推進していきましょう！



岐阜市の主な取組

様々な施策においてSDGsを推進していきます

まちづくりの総合的な方針「岐阜市未来のまちづくり構想」で、SDGs達成に向けた取組を進め、誰一人取り残されないまちを実現することを基本的な考え方の1つに位置づけ、本市の様々な計画や施策においてSDGsの推進を図っていきます。

SDGs未来都市計画を推進していきます

岐阜市は、SDGsの達成に向けて優れた取組を行う自治体「SDGs未来都市」として内閣府から選定されました。選定を受け、本市では将来ビジョンやSDGsの先導的な取組をまとめたSDGs未来都市計画を策定し、その推進を図っています。



岐阜市長 柴橋 正直

NEXT >> 岐阜市SDGs未来都市計画の中で目指す2030年のまちの姿や取組について

これが2030年に向けて岐阜市が目指すまちの姿です!

シビックプライドと Well-being に満ちた持続可能なまち



SDGsの達成期限である2030年に向けた岐阜市のまちづくりにおいて、大切にしたい2つのキーワードがあります。それは人々の「シビックプライド」と「Well-being」です。シビックプライドとは、まちへの愛着と誇り、また、まちに関わろうとする気持ち、Well-beingとは、心も体も健康で、人や社会との豊かなつながりがある状態の

ことをいいます。まちのことを大切に思いながら、意欲的にまちづくりに関わる人が増えることで、人とまちの活力が向上し、さらに多くの人々のまちへの愛着や関心につながっていきます。岐阜市では、SDGsの三側面「環境」「社会」「経済」の取組を通じて、こうした好循環を生み出す持続可能なまちを目指していきます。



SDGsの三側面において目指すまちの姿

環境

- 7 エネルギー-ERAを広く活用する
- 12 つくって責任 つかう責任
- 13 気候変動に 具体的な対策を
- 15 陸の豊かさも 守ろう

「地域の自然を守り育て未来につなぐまち」

脱炭素・循環型社会の実現に向けて、市民と事業者、行政の協力による再生可能エネルギーの利用や省エネ、緑化、ごみの減量と資源化の活動を促進します。さらに、環境教育の推進や自然環境保全活動団体の取組の輪を広げることにより、環境保全を担う人材の育成や市民の環境意識向上を図り、地域の自然環境を守り育て、未来に継承する風土の根付いたまちを目指します。

社会

- 3 すべての人に 健康と福祉を
- 4 質の高い教育を みんなに
- 5 ジェンダー平等を 実現しよう
- 10 人や国の不平等を なくそう

「誰もが健幸で自分らしく活躍できるまち」

性別や年齢、国籍や障がいの有無にかかわらず、地域での生活や活動、就労の場において、誰もが自己実現できる環境づくりを促進し、多様な個性や能力を活かしたダイバーシティ&インクルージョンのまちづくりを進めます。さらに、多くの人々が公園や運動施設、健康ウォーキングを活用し、健康づくりに取り組むことにより、誰もが「健幸」で生涯にわたって自分らしく活躍できるまちを目指します。

経済

- 8 働きがいも 経済成長も
- 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
- 11 住み続けられる まちづくりを

「新たな価値を創造する人や産業が育つまち」

ぎふ長良川の鵜飼や岐阜和傘、特産農産物である「ぎふペジ」などの地域資源をブランディングして付加価値を高めるとともに、スタートアップ支援やライフサイエンス拠点の形成による新産業の創出、ICTを活用したビジネスモデルやワークスタイルの普及による生産性の向上を図ります。さらに、市の中心部においては、市街地再開発とリノベーションまちづくりを両輪にエリアの魅力や価値を高め、にぎわいを創出するなど、新たな価値を創造する人や産業が育つまちを目指します。

NEXT >> 目指すまちの姿の実現に向けて岐阜市で進めている先導的な取組について

地域資源を活かしたSDGsの先導的な取組を紹介します!

本市が誇る、金華山や長良川といった「山水」の自然と、柳ヶ瀬商店街をはじめとする「都市」の資源を磨き、健康ウォーキングと掛け合わせた「ヘルスツーリズム」を推進します。この取組においては、シビックプライドの醸成と Well-beingの向上を目指すとともに、SDGsの三側面「環境」「社会」「経済」のいずれの課題解決にもつなげる視点を大切にしています。

「山水」と「都市」が融合したヘルスツーリズム



クアオルト®健康ウォーキング

金華山、長良川、百ヶヶ峰などの豊かな自然の中で、心拍数や血圧を測りながら自身の体力に合わせて行う「クアオルト®健康ウォーキング」。安全に楽しく参加でき、生活習慣病、介護予防などの効果が期待できます。岐阜市では官民が連携して、この健康ウォーキングに温泉や歴史・まちの散策などを組み合わせて旅行商品を造成するなど、ヘルスツーリズムを推進しています。



フィールドとなる地域資源の保全と創造



かわまちづくり

長良川の歴史や文化、景観を1000年先も継承し続けるとともに、新たな魅力やにぎわいを創造する「かわまちづくり」。地域資源や特性を活かした様々な取組を官民で連携しながら行っています。長良川の水辺で水上座敷などの新しい鵜飼観覧の方法を取り入れたたり、お洒落な雑貨や美味しい食べ物のあるマルシェを開催するなど、市民も観光客も親しみ楽しめる空間づくりを進め、地域の活性化につなげています。



リノベーションまちづくり

民間が主体となって、空きビルや公共的な空間等の空間資源、人や文化、産業等の潜在的な地域資源を活用して、まちの活性化や都市及び地域の課題解決につなげる「リノベーションまちづくり」。柳ヶ瀬を中心とするエリアに、その場所にしかない、お店、サービス、人、体験など、まちの魅力となるコンテンツを集積し、エリアの価値を高めるまちづくりを進めています。



シビックプライドの醸成 + Well-beingの向上

環境 社会 経済 のいずれの課題解決にもつなげる!

NEXT >> SDGsを積極的に推進している岐阜市内の企業や団体、学校の取組について

岐阜市内の企業や団体、学校の取組を紹介します!

01 | 株式会社秋田屋本店 | 養蜂からSDGs推進へ

一緒に養蜂にチャレンジし、
自然と共生する循環型社会の実現に
取り組みましょう!



代表取締役社長
中村 浩康さん

養蜂場でのミツバチ飼育、蜂産品(はちみつ・ローヤルゼリーなど)・養蜂資材の製造・販売を通して「積極的なSDGs」を推進しています。

養蜂とは、ミツバチを飼育し、蜂産品を採取するとともに、果樹や野菜などの受粉をさせることです。ミツバチが花から花へと花粉を運び、植物が光合成で二酸化炭素から酸素を生み出し、果実を実らせ、わたしたちの食糧となり命を支えます。国連環境計画の報告(2011年発表)によると、世界の食糧の9割を100種類の作物が占めています。そのうち7割以上の受粉をミツバチが媒介しています。このように、養蜂は人間の営みと

密接に結びついており、SDGsの目標13「気候変動」や15「陸上資源」など地球に関する目標、2「飢餓」や3「健康」など人に関する目標と非常に親和性が高い取組です。

そこで、養蜂の担い手を増やし、養蜂とSDGsの更なる普及促進を図るため、2021年に「企業養蜂」の支援を始めました。春と秋に企業を対象とする宿泊研修プログラムなどで養蜂のノウハウを学んでいただくとともに、養蜂資材の提供を行っています。ミツバチの飼育を通じて、一人ひとりが自然環境を自分ごととして捉えるきっかけをつくり、社会全体で地球規模の環境問題に向き合う機運を高めていきたいと思っております。



DATA | 創業:1804年 従業員数:210名
岐阜市加納富士町1-1

02 | 和光会グループ | 医療・介護・福祉からSDGs推進へ

SDGsは多様な人々をつなぐ共通言語です!
SDGsでみんなが安心して暮らせる地域社会を
一緒につくりませんか!



理事長
山田 豪さん

医療、介護、障がい者・子育て支援など様々な分野で幅広くサービスを展開し、地域の皆さんのニーズに答えています。2020年には、そうした取組をテーマごとに位置づけたSDGs方針を策定しました。その中心は、誰もが住み慣れたまちで安心して暮らし続けられる持続可能な「地域包括ケア×SDGs」の構築。高齢化や核家族化の進展により社会的孤立が課題となる中、医師・看護師・介護士など様々なスタッフを抱える和光会グループの強みを活かし、多職種が連携して、自宅でも受けられる充実した医療や介護サービスを多くの方に提供することにより、SDGsの目標3「健康・福祉」

や11「住み続けられるまちづくり」の達成に貢献しています。

また、将来を担う人材育成にも力を入れています。その一環として、若い世代へのSDGsの普及啓発を図るため、地域の中学校や高校への出前授業などを実施。2020年から開催している「SDGs子どもミーティング」は、セミナーやクイズ、子どもたちによるSDGs活動発表を通じて、「身近な事例を学び、行動するきっかけになる」と大変好評です。

これからも、一人ひとりが世代や立場を超えてつながり、生きがいを持って暮らせる、そんな社会を地域とともにつくり、「地域共生社会」の実現を目指します。



DATA | 創業:1925年 従業員数:1,605名
岐阜市寺町7-98-1

03 | NPO法人クローバ! | 女性の活躍を目指してSDGsを推進

SDGsを難しく考える必要はありません!
身近なこと・興味を持てることから
始めてみましょう!



代表
島田 貴子さん

「女性が生き生きと活躍することで、女性だけでなく関係するすべての人々が健やかに、社会を変えられる」という考えのもと、女性が自分らしい暮らし方や働き方を実践できる社会の実現を目指して活動しています。

子育てする女性目線による商業施設の空間づくりの提案、SNSを活用した交流の場創出、起業支援などを通じて、女性が生活しやすく、能力を活かして輝ける社会づくりを着実にかたちにし、SDGsの目標5「ジェンダー平等」、8「働きがいと経済成長」の達成に貢献しています。

また、岐阜県内5か所の大型商業施設で毎月開催するハンドメイドマーケットでは、女

性視点による個性あふれる手作り商品販売の場を提供。モノを通した人のつながりを創出するとともに、目標12の達成に向けて、愛着をもって永く使える持続可能な消費と生産を啓発しています。

さらに、2020年からSDGsを意識した行動を呼びかけるフリーマガジン「CoReColor(コレカラー)」を発行。その中では「健康」を1つのテーマとし、検診を受ける日を、仕事や家事を休んで自分自身の健康を見つめる日「検診ホリデー」にしようという運動を紹介しています。今後は、こうした運動を企業に広めるなど、目標3につながる女性の健康な体づくりにも積極的に取り組んでいきます。



DATA | 設立:2010年 会員数:約3,000名
岐阜市正木中1-2-1 マーサ21 南館3階

04 | 岐阜市立長良西小学校 | 学びからSDGs推進へ

子どもたちと一緒にSDGsを学び、
持続可能な社会づくりに
参加してみませんか!



教諭
原田 和樹さん
PTA役員
畑佐 英理子さん

2018年度から授業にSDGsを取り入れています。3年生以上の児童は、総合的な学習の時間にSDGsを学び、校区の天神川の水質調査などフィールドワークを通じて、身近な自然環境や地域社会の問題をいかに解決するか考える探究の学びを進めます。さらに6年生は、環境・福祉・防災の分野ごとにSDGsの視点から自分にできることを考え、仲間と意見を交換。「CO₂の排出抑制で集中豪雨が減少し、川から海に流れ出るごみも減らせる」といった目標や取組のつながりを見つけていきます。そして、4年間の学習の集大成として行うのが児童一人ひとりの「行動宣言」です。こうした学びの中で、多角的に物

事を考え、自ら社会を創造する子どもの力を育てています。

また、家庭でもSDGsを学び、行動しています。2021年の夏休み、PTAが主体となってSDGs新聞を制作し、全児童に配布。SDGsビンゴクイズや関連書籍の紹介を掲載するなど、家族一緒に楽しみながらSDGsを学べる工夫が満載です。冬には、使用済みカイロを回収し、中身をリサイクルして水質浄化剤を製造する団体に寄付する活動を実施。校内の手作りの回収ボックスには1週間ですぐ40kgもの使用済みカイロが集まりました。

長良西地域では、子どもと学校、家庭の連携によりSDGsの取組の輪が広がっています。



DATA | 創立:1955年 児童数:592人 教職員数:31人
岐阜市千代田町2-1

「わたし」と「あなた」と 「ミライ」のために

右の図は岐阜市のSDGs推進のシンボルとして制作したロゴマークで、岐阜城や長良川をはじめとする岐阜市の大切な地域資源とSDGsの取組におけるキーフレーズをカラフルに彩ったデザインとしています。わたしたちのミライのため、持続可能な岐阜市を目指し、一人ひとりが望まぬ姿を描き、その実現に向けて行動し、みんながまちを変えていきたい。キーフレーズの「えがこう うごこう かえよう」にはそんな想いを込めています。



おしえて! あなたの

SDGs宣言!

岐阜市をどんなまちにしたいですか?

その実現に向けて、何に取り組めますか?

明るいミライへ進んでいくのは、
「どこかの誰か」ではなくて「今ここにいるわたし」。

- [えがこう] 持続可能な岐阜市をつくるために、どんなまちを目指し、自分自身は何に取り組めるのかを考えてみましょう。
- [うごこう] そして、考えたことを書き記して、実際の行動に移してみましょう。
- [かえよう] その一人ひとりの行動こそが、岐阜市を変えるための大きな一歩になります。

2022年3月発行

【発行】岐阜市企画部未来創造研究室 〒500-8701 岐阜県岐阜市司町40番地1 TEL.058-214-2004

【編集・デザイン】株式会社リトルクリエイティブセンター

本誌に掲載されている情報は発行時点のものです。

SDGsや岐阜市の取組などについて、
詳しくは岐阜市ホームページをご覧ください。

